

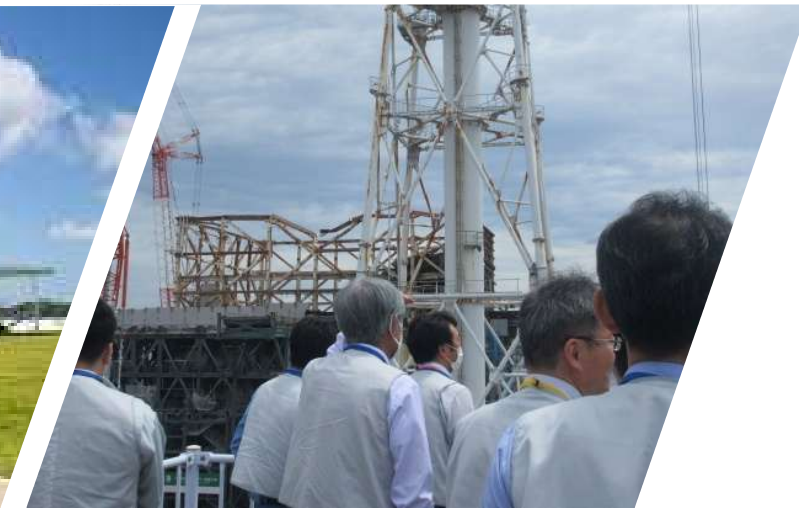


令和7年度のF-REI関連の取組等について

資料

2026年4月28日

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構



福島
イノベーション
コースト
構想推進機構

イノベ構想参画促進セミナー

(イノベ企業と中通り・会津地方の企業とのマッチング/F-REIの取組を紹介)

- 県内企業とイノベ企業（進出企業等）とのビジネスマッチングを目的としたセミナーを県内3方部で実施。イノベ構想の施策や各種支援制度、イノベ構想に参画するメリットを説明する等、参画を呼び掛ける。
- セミナーでは進出企業等が各自の取組を説明し、県内企業とのマッチングニーズを直接説明。
- **F-REIの取り組みについても説明し、イノベ構想の更なる発展に向け相乗効果を図る。**

2025年8月7日：福島イノベ構想参画促進セミナー in 須賀川（県中地域）

- ・株式会社AstroX 代表取締役 小田 翔武 様
テーマ：「福島での宇宙ビジネスの拡大」
- ・将来宇宙輸送システム株式会社 基盤部長 細國 敬祐 様
テーマ：「“使い捨てない宇宙”へ——浜通り発・ロケット開発支援の挑戦」



2025年10月22日：福島イノベ構想参画促進セミナー in 二本松（県北地域）

- ・合同会社良品店 代表社員 渡邊 洋一様
テーマ：「国産無垢木材をもっと気軽に活用する！タテログから始まる地方創生！」
- ・會澤高圧コンクリート株式会社 未来開発本部 執行役員 大橋 未来 様
テーマ：「浪江から世界へ！コンクリート×テクノロジーによるイノベーション」



2025年12月4日：福島イノベ構想参画促進セミナー in 会津若松（会津地域）

- ・株式会社manisonias 代表取締役 橋本 綾子 様
テーマ：「ドローンを活用した地域課題解決実現に向けた、国産ドローン開発の挑戦」
- ・マッハコーポレーション株式会社 代表取締役社長 赤塚 剛文 様
テーマ：「宇宙の技術を、福島発の民生品へ」



各回、F-REI 広域連携監 村田 文夫 氏から「創造的復興への挑戦～F-REIの取組紹介」のタイトルでF-REIの取組等についても紹介。

イノベ未来講座にF-REI研究者を招へい

連携協定に基づき、イノベ機構が県内の小、中、高校、大学等で実施するイノベ未来講座にF-REI研究者を招聘し、2024年度から2025年12月現在まで、計13回、合同で出前講座を開催した。

(2024年度 開催実績)

開催日	学校	F-REI研究者	テーマ (演題)
7月2日 (火)	相馬高校	荒尾 知人 先生	・私の研究 (お米の有害成分を減らす) ・エフレイで取り組むスマート農業技術
7月2日 (火)	相馬高校	金子 純一 先生	大熊ダイヤモンドデバイス株式会社設立の経緯や廃炉、福島復興への取り組みについて
7月5日 (金)	原町高校	大和田 祐二 先生	私の医学研究とF-REI (エフレイ)
8月2日 (金)	磐城高校	大西 公平 先生	遠隔操作ロボットによる取り出し作業
11月18日 (月)	小高産業技術高校	矢部 彰 先生	人間生活とエネルギー・環境への影響～2050年にカーボンニュートラルを実現し地球温暖化問題を克服するために～
1月22日 (水)	小高産業技術高校	武田 伸一郎 先生	エックス線とガンマ線で宇宙をのぞく・生命をのぞく
2月18日 (火)	会津学鳳高校	矢部 彰 先生	「中山風穴」に対する熱エネルギーの観点からの考察、および、「2050年にカーボンニュートラルを実現し地球温暖化問題を克服するために」
2月19日 (火)	安積黎明高校	大和田 祐二 先生	私の医学研究とF-REI (エフレイ)
3月19日 (水)	安積高校	秋田 調 先生	福島国際研究教育機構における研究の概要と我が国における再生可能エネルギー活用における課題



安積高校での秋田先生の出前講座

(2025年12月現在 開催実績)

7月4日 (金)	原町高等学校	苅谷 智大 先生	東日本大震災からの復興とアントレプレナーシップ
7月28日 (月)	日本大学東北高等学校	石井 弓美子 先生	福島原発事故後の水辺で起きたこと
8月4日 (月)	磐城高校	鈴森 康一 先生	パワーソフトロボティクス
11月26日 (水)	安積黎明高校	林 誠二 先生	地域と協働した環境回復の取組 ～放射能の影響と14年の変遷を踏まえて～



磐城高校での鈴森先生の出前講座

F-REI研究者と県内企業との交流会開催

F-REI研究の産業化に向けた取組として、F-REI、福島県、イノベ機構の三者共催により、**F-REIの研究者と県内企業が相互に理解を深める交流会**を実施した。

2026年1月21日(水) @コラッセふくしま

- **燃料電池システム研究ユニットの飯山ユニットリーダー及び柳澤ユニットサブリーダー**が、研究内容（**水素燃料電池ドローン**）について紹介。
- 県内でドローン関係の事業に取り組む企業や産業支援団体、県ハイテクプラザ等が参加し、**ワークショップ形式で意見交換**を行い、企業やユーザー側の課題やニーズ等について、幅広い意見が交わされた。



参加企業等と意見交換を行う飯山UL



参加企業等と意見交換を行う柳澤USL

福島ロボットテストフィールドの福島国際研究教育機構への統合(イメージ)

RTF統合の基本的な考え方 (令和6年6月14日 福島県・F-REIの基本合意書より)

本統合は、(中略)RTFのこれまでの機能及び成果をF-REIが継承するとともに、ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指すために行われるものである。このため、F-REIは、統合後のRTFについて、世界に類を見ない開発実証拠点としての機能を維持・発展させつつ、F-REIとして必要な研究開発や実証等の拠点として活用するものとする。また、F-REIは、福島県の協力の下、RTFの活用を通じて、世界水準の研究とその成果の社会実装・産業化を進め、RTFを利用する企業・研究機関との共同研究等によりその成果の最大化を目指す。あわせて、福島県は、F-REIが統合後のRTFを円滑かつ効果的に運営することができるよう、F-REIと緊密な連携を図るものとする。

【現在】福島県有の「公の施設」

統合期日: 令和7年4月1日

【統合後】F-REIの施設



- ※1 当分の間、現行の指定管理業務の内容を踏まえ、委託(当初の委託期間はR7～R11年度までの5年間とし、R9年度に見直し等を協議)
- ※2 入居企業等については、従前どおり審査し、継続的に入居を許可
- ※3 利用企業等については、F-REIとの利用調整を図りながら、利用を許可

(注) 現物出資等については、福島県議会の議決や主務大臣の認可等の必要な手続きを経ることが必要

「World Robot Summit 2025」の情報発信

ふくしまロボット産業推進協議会 令和7年総会において「F-REIの産業化に向けた取組とWRS2025の展望」をテーマにパネルディスカッションを開催

パネラー：福島国際研究教育機構 ロボット分野長 野波 健蔵 様
 福島大学 教授 高橋 隆行 様
 会津大学 特任教授 屋代 眞 様

スケジュール

10/10	10/11	10/12
10:00-11:30 予備校 11:00-13:00 予備校 13:00-14:00 競技校 14:00-17:00 予備校 17:00-18:00 予備校	10:00-11:30 予備校 11:00-13:00 予備校 13:00-14:00 競技校 14:00-17:00 予備校 17:00-18:00 予備校	10:00-11:30 予備校 11:00-13:00 予備校 13:00-14:00 競技校 14:00-17:00 予備校 17:00-18:00 予備校

過酷環境 F-REI チャレンジ
 2025年 **10月10日** 10:00 → **12日** 17:00
 会場：福島ロボットテストフィールド (RTF)

入場無料
 来場登録フォーム
 主催：F-REI 福島国際研究教育機構 共催：経済産業省
 後援：復興庁 福島県 南相馬市 浪江町

ステージプログラム

10/10 10:30-11:30
過酷環境F-REIチャレンジフォーラム
 過酷環境下で活躍するロボット・ドローンの開発を目的とした、4つのチャレンジについて、競技委員長が解説します。

登壇者
 過酷環境ドローンチャレンジ(HEDC) 競技委員長 福島国際研究教育機構(F-REI) ロボット分野長 野波 健蔵
 プラント災害チャレンジ/シミュレーション災害チャレンジ/標準性能評価ドローンチャレンジ(STM) 競技委員長 国際レスキューシステム研究機構 会長 田所 諭 氏

10/11 14:00-15:00
標準性能試験法と災害対応ロボット・ドローンの社会実装
 ロボット・ドローン競技会を通じた国際標準化の取り組みとその展望を発表します。

登壇者
 標準性能評価ドローンチャレンジ (STM) 競技委員会

10/12 16:00-16:30
過酷環境F-REIチャレンジ表彰式
 4つのチャレンジの結果発表と、1位：経済産業大臣賞、2位：福島県知事賞などの表彰を行います。

賞状の枝を授け キッチンカーが出演!

10/12 14:00-14:30
トンネル災害対応におけるドローン活用の実証と展望
 消防でのドローン配備を全国に先駆けて実現した大原野豊中市のKITEによるレスキューデモを開催します。

デモ協力
 豊中市消防局災害対応ドローン隊KITE

競技概要

A 過酷環境ドローンチャレンジ(HEDC)
 会場 茨城県水戸市 茨城県庁庁舎内 消防署1号機1号機投入禁止エリア
 大規模災害を想定した、被災状況の調査や、被災者に対する救助物資の搬送などを行う競技です。茨城県水戸市より飛び立ち、小高地区を飛行してミッションを行います。

B プラント災害チャレンジ
 会場 試験用プラントトンネル
 デジタル twins を導入し、仮想化したプラントやトンネルにおける異常発生時の検出や対応の調査・点検を行う競技を行います。

C シミュレーション災害チャレンジ
 会場 研究棟1F
 プラント災害における、実演では困難な、より過酷環境下を想定したシミュレーション競技を行います。

D 標準性能評価ドローンチャレンジ (STM)
 会場 屋内試験場
 様々な過酷環境の要因を扱うフィールドにおいて、4つの競技について詳しく競技を行います。

バス時刻表

JR原ノ町駅 ⇄ 会場 (RTF) ※会場最寄り駅の情報で、ダイヤ通りに運行させていただきます。あらかじめご了承ください。

10/10	10/10	10/11・12
原ノ町駅発 00:08 05:09 10:10 15:11 20:12 25:13 30:14 35:15 40:16 45:17 50:18	会場(RTF)発 08:00 13:01 18:02 23:03 28:04 33:05 38:06 43:07 48:08 53:09 58:10	原ノ町駅発 03:08 08:09 13:10 18:11 23:12 28:13 33:14 38:15 43:16 48:17 53:18 58:19

World Robot Summit 2025 Sponsors

Global Partner
 Kawasaki, エプソン EHSX, 株式会社トヨタ, FANUC, NACHI, YASKAWA

Platinum Partner
 EPSON, SMC, THK, ACESL

Gold Partner
 KAO, JTB

Silver Partner
 Algorix, VMC, 三菱重工, LSI

Partner
 東邦銀行, トレーラーハウスデベロップメント

「F-REI連携コーディネーター」の紹介（令和8年度から2名体制）

F-REIを核とした広域なネットワークの形成やF-REIと地域との連携を促進し、**F-REIの円滑な活動を支え、イノベ構想の更なる発展につなげる。**

＜F-REI研究開発支援担当＞



野地 英男（のち ひでお）

主な支援内容

- F-REI研究開発の情報収集
- F-REI研究者等からの相談・仲介
- F-REI研究開発等の情報の整理・活用
- F-REI研究者等との交流機会の提供

＜F-REI地域連携支援担当＞



伊藤 俊雄（いとう としお）

主な支援内容

- イノベ企業等へのF-REI研究開発の情報発信
- 地域住民に向けたF-REIの認知度向上
- 市町村のシーズ、ニーズの把握
- F-REIと地域の相互理解の促進

連携



広域連携ワーキンググループへの対応

集う、創る、叶える、ふくしままで。



福島イノベ機構

公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構
〒960-8043
福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

<お問合せ先>
Tel : 024-581-6894 (代表)
受付時間 9:00~17:00 (土日祝日・年末年始除く)

「福島イノベーション・コースト構想」のプロジェクトの状況や直近のトピックスをご覧ください。



公式ウェブサイト



Hama Tech
Channel



パンフレット



f for
Business



f イノベの教育



Instagram icon



X icon



note icon



YouTube icon